

Ⅲ 授業料および諸経費

1. 授業料の負担者 (表17)

「授業料はどのようにまかなっていますか」という問いに、短大・大学は9割以上が「親が負担している」と答えている。一方、准看護婦(士)養成所では、「勤務先の病・医院が支払っている」が41.3%、「自分で働いて支払っている」が40.6%を占めているのが特徴である。

2. 生活費および教材費 (表18)

生活費および教材費は、大学が最も多くかかっている。これは、他の課程の場合、寮や自宅から通学している割合が高いため、住居費を低く抑えられているためであると考えられる。

「自分で得た収入」は、准看護婦(士)養成所在学者が最も多く稼いでいる。この収入額は、毎月稼いでいるか否かを限定して聞いていないため、夏休み等のアルバイトで得た収入も含まれている可能性がある。

表17 授業料の負担者 (複数回答)

	准看護婦(士) 養成所	高等学校 衛生看護科	3年課程	看護短期大学	4年制大学
親が負担している	149 (9.2)	483 (75.8)	839 (63.5)	149 (90.3)	176 (95.7)
自分で働いて支払っている	655 (40.6)	44 (6.9)	40 (3.0)	0 (—)	3 (1.6)
奨学金で支払っている	178 (11.0)	108 (17.0)	237 (17.9)	19 (11.5)	8 (4.3)
勤務先の病・医院が支払っている	666 (41.3)	13 (2.0)	52 (3.9)	0 (—)	0 (—)
授業料はない	8 (0.5)	2 (0.3)	175 (13.2)	0 (—)	1 (0.5)
その他	26 (1.6)	9 (1.4)	21 (1.6)	2 (1.2)	3 (1.6)
回答者数	1,614 (100.0)	637 (100.0)	1,321 (100.0)	165 (100.0)	184 (100.0)

表18 生活費および教材費・1ヵ月平均額

	准看護婦(士) 養成所	高等学校 衛生看護科	3年課程	看護短期大学	4年制大学
生活費および教材費	45,326円	39,423円	41,882円	61,514円	98,187円
自分で働いて得た収入	80,228	78,806	48,667	24,600	33,365

3. 奨学金 (表19)

奨学金を「受けている」と答えている割合は、課程別にみると看護短期大学が62.4%と最も多い。また1ヵ月の合計金額は、4年制大学が月平均38,000円と、最も高い。

奨学金の貸与先は、高等学校衛生看護科では「日本育英会」が41.6%と最も多いが、それ以外の課程では、「都道府県・市町村」が2～4割、「卒業後就職する予定の病・医院」が3～6割であった。

4. 働きながら通学することの切実な問題点 (表20)

働きながら通学している学生に対して、切実な問題を1つだけ選んでもらった。働きながら通学しているのは、課程別にみると准看護婦(士)養成所の生徒が86.7% (問19で自分で働いて得た収入が記述してある学生数の割合)と最も高く、また切実な問題点として、「自分の時間がない」21.7%、「勉強がおろそかになる」21.4%と回答している。勉強がおろそかになるのは、学生としては問題である。

表19 奨学金を受けているか否か

	准看護婦(士) 養成所	高等学校 衛生看護科	3年課程	看護短期大学	4年制大学
受けている	511 (31.7)	166 (26.1)	595 (45.0)	103 (62.4)	91 (49.5)
受けていない	1,073 (66.5)	460 (72.2)	708 (53.6)	61 (37.0)	90 (48.9)
無回答	30 (1.9)	11 (1.7)	18 (1.4)	1 (0.6)	3 (1.6)
合計	1,614 (100.0)	637 (100.0)	1,321 (100.0)	165 (100.0)	184 (100.0)
→ 月額いくらですか (1ヵ月合計)					
1ヵ月平均	23,000円	23,000円	26,000円	34,000円	38,000円
最小	0	0	0	7,000	0
最大	75,000	90,000	90,000	94,000	95,000
→ どこからのものですか。該当するものすべてに○をつけてください (複数回答)					
日本育英会	5 (1.0)	69 (41.6)	44 (7.4)	20 (19.4)	21 (23.1)
都道府県・市町村(看護婦として就職するという条件)	169 (33.1)	19 (11.4)	273 (45.9)	23 (22.3)	37 (40.7)
都道府県・市町村(上記を除く)	12 (2.3)	25 (15.1)	25 (4.2)	1 (1.0)	2 (2.2)
卒業後就職する予定の病・医院	270 (52.8)	48 (28.9)	230 (38.7)	58 (56.3)	58 (63.7)
学校独自のもの	7 (1.4)	8 (4.8)	79 (13.3)	13 (12.6)	12 (13.2)
その他	49 (9.6)	4 (2.4)	14 (2.4)	1 (1.0)	3 (3.3)
回答者数	511 (100.0)	166 (100.0)	595 (100.0)	103 (100.0)	91 (100.0)

表20 働きながら通学することの切実な問題点

	准看護婦(士) 養成所	高等学校 衛生看護科	3年課程	看護短期大学	4年制大学
睡眠不足	124 (8.9)	5 (8.1)	4 (3.3)	0 (—)	1 (2.2)
翌日まで疲れが残る	146 (10.4)	2 (3.2)	5 (4.1)	1 (2.8)	0 (—)
職場の人間関係で気を使う	234 (16.7)	10 (16.1)	8 (6.5)	0 (—)	0 (—)
自分の時間がない	303 (21.7)	13 (21.0)	13 (10.6)	0 (—)	0 (—)
勉強がおろそかになる	299 (21.4)	8 (12.9)	5 (4.1)	0 (—)	0 (—)
体調を崩しやすい	102 (7.3)	5 (8.1)	1 (0.8)	0 (—)	1 (2.2)
その他	46 (3.3)	1 (1.6)	1 (0.8)	0 (—)	1 (2.2)
無回答	145 (10.4)	18 (29.0)	86 (69.9)	35 (97.2)	43 (93.5)
合計	1,399 (100.0)	62 (100.0)	123 (100.0)	36 (100.0)	46 (100.0)

Ⅳ 入学したことの利点とやめようと思ったこと

1. この学校に入学してよかったと思うこと (表21)

この学校に入学してよかったと思うことを3つ選んでもらった。その中で割合が高い項目をみると課程別には若干の差はあるが、全ての課程に共通しているのは「自分が人間的に成長した」という項目である。

課程別に「入学してよかったと思うこと」としてあげている上位3項目をみてみよう。

准看護婦(士)養成所では第1位「看護の知識や技術が身についた」61.4%、第2位「看護の奥深さを知った」44.1%、第3位「自分が人間的に成長した」40.1%であった。

高等学校衛生看護科では第1位「看護の知識や技術が身についた」62.3%、第2位「自分が人間的に成長した」49.3%、第3位「看護の奥深さを知った」44.0%であった。

3年課程では、第1位「自分が人間的に成長した」56.9%、第2位「看護の知識や技術が身についた」54.4%、第3位「信頼できる友人と出会えた」42.5%であった。

看護短期大学では、第1位「自分が人間的に成長した」56.4%、第2位「信頼できる友人と出会えた」53.9%、第3位「看護の知識や技術が身についた」47.9%であった。

4年制大学では、第1位「自分が人間的に成長した」52.7%、第2位「視野が広がった」50.5%、第